

未来へつなげ日本の心 発表会

12月17日 / 南流山センター

日本のおどり文化協会新聞

〒161-0031 東京都新宿区西落合1-15-7-105 一般社団法人 日本のおどり文化協会 電話 03-5983-6360

文化庁伝統文化親子教室事業



昨年12月南流山センターにおいて文化庁伝統文化親子教室事業の発表会が行われた。当初和室稽古場での身内だけのお祝い会を予定していたが会場



ジョージア独立25周年記念参加

5月26日在日ジョージア大使館は都内のホテルオークラにてジョージア独立25周年を記念するレセプションを開催。政府関係者、国会議員、実業団体、国際機関、在日外交使節団、大学関係者、カル

チャーター分野から約200名が出席した。ジョージア国大使レヴァン・ツインツァゼ博士（写真）外務大臣政務官演



チャチャ、ワイン、ブランデーなどが振る舞われた。レヴァン・ツインツァゼ大使



難曲にチャレンジ！ 初舞台にも動じず。堂々のおどり



が取れず何倍も大きな立派なホールでの発表会となっていました。



応援スタッフも駆けつけ

着付、メイク、ヘア、進行、音響、受付、を担当してくださった。夜公演のため、父兄だけを予定していましたが当初予定の倍近い60名にご来場いただきました。演目は実に12曲。オープニングを飾ったのは山形県の民謡花笠音頭。続いて飾山囃子・秋田音頭を合宿で習った6年生が踊り、同じく合宿の課題曲青森県の津軽じよんがら節を息の合った2名が講師と共に踊った。続いて講師に

よる南部俵つみ唄、その後、今回挑戦の銭太鼓フルバージョンを披露。大成功の舞台だった。この踊りを踊るには最低3年は必要といわれている。続いて今回初舞台ちはるちゃん（小学1年生）は稽古日数の少ない中見事に紅花摘み唄とふるさと囃子を踊りきり6年生まで踊りをやりたいと決意を語った。そして講師3名による津軽小原節のあとは優雅な岐阜県の民謡こきりこ節をベテランの3人が踊る。後半は早稲賦、涙そうそうを講師陣が努め、フィナーレふるさと囃子。スクール唯一の男子、中向正弥くん（3年生）はふるさと囃子に出演。重い銭太鼓を回しきるなど高学年からの大技にチャレンジし見事に踊りきった。皆本番が終わり安堵の顔。終演後はロビーで記者会見並みの撮影大会となった。この後、流山生涯学習センターで行われる新春菊の会公演のフィナーレに地元子供メンバーとして紹介され阿波踊りを披露する予定だ。今後の活動にも目が離せない。

南米ペルーでワークショップ

南米ペルーのリマ市に於いて
・ラ・ビクトリア日系人学校
・リマ日本人学校
・ラウニオン総合学校
・ホセガルベス校
4校に於いて海外初のワークショップ指導

120名が参加

社団初の海外ワークショップを開催。
昨年3月ペルー日本大使館の紹介でペルー日系人協会の協力のもと日系人学校・日本人学校4校でワークショップが行われた。日本より銭太鼓を持ち込み、ふるさと囃子の

日本の伝統文化の良さを発信する能力・態度の育成事業



東京都の事業で「日本の伝統文化の良さを発信する能力・態度の育成事業」が行われた。これは6月から3・4時間目の授業として体育館で半年ほどかけて行われた、発表は2月で海外英会話講師を来賓に迎え阿波踊りを披露した。稽古は1ヶ月たつと振り出しに戻るのを繰り返し挫折しそうになったが、近くなるにつれ上達が早くなり、最後は拍手喝采の公演となった。



稽古を行った。日本の3月はペルーでは夏の終わり。ラ・ビクトリア日系人学校では炎天下の中、体育館で行われた。スライドを使つての菊の会紹介の後、通訳の佐野ペペさん（昨年12月26日にTV東京「世界ナゼそ



新宿区スポーツ文化事業「ふれあい伝統文化事業

昨年の地域活性化事業の公演をご覧になった落合第二小学校PTA副会長さんより依頼があり、新宿区のふれあい伝統文化事業の一環で落合第二小学校の生徒さんを対象に和太鼓をレクチャーを行うこととなった。1回30分で1曲をマスターしてもらおう。演目はふるさと囃子。参加者は15人程度で、5グループを和太鼓レクチャーする事となる。休憩の時間もなく指導員は汗びっしょりになって子どもたちに和太鼓の手を教えていた。初めての経験という事もあり、子どもたちも幾分緊張をしていたが最後には笑顔で演奏した（新宿区立落合第二小学校にて）



こに日本人」に出演されていまして）に助けられながら暑さに負けず何とか最後までいきました。各校共に中庭や体育館で

猛特訓が行われた。小学生から中学生まで代表の生徒120名が参加。ペルーの治安は未だ悪く学校付近は厳重な警備の中行われた。リマ日本人学校では終了後に小学部3年生全員から感想とお礼の挨拶をして全員から花束を頂戴しました。今回は銭太鼓ということと古銭の替わりに5円玉が各6枚入っています。一人2本で12枚。これが30セットなので税関ではお金が入っているのど怪しまれるかと思いい写真を用意。案の定検査にかり説明をして事なきを得た。しかし、お金が入っている小道具というのも不思議なものだ。今回は5円玉を合計しても1800円なので許して頂けたようだ。50円玉にする案はやめておこう。





夏合宿 in 手賀沼2016

千葉県立手賀の丘少年自然の家

新宿西落合のオリエンタル通り商店街後援の第2回桜まつりが3月26日、4月3日まで西落合スタジアムに於いて22回ステージが行われた。通常4500円のチケットが1000円という事もあり哲学堂の桜並木を鑑賞しながら、寄ってくださった方がたくさんいた。

新宿西落合で桜まつり



初の夏合宿を終えて

間だ。お部屋は2段ベッドが6台で12人定員が3部屋。部屋割りが決まり荷物を各部屋に入れてお稽古を再開。浴衣でのお稽古は圧巻だ。お稽古をするとおなかも空いてくる。食事場所は2階で一斉に。他の団体も並んで



他団体もあわせると総勢300名が参加の様子。布団の使い方や館内の案内、食事場所やルール等、団体の翌日の掃除場所の割り振りやお部屋の決定などワクワクドキドキの瞬間だ。



昨年8月南流山駅前フェスタの翌日に4年生以上による夏の合同合宿が千葉県立手賀の丘少年自然の家で1泊2日で行われた。当日朝、稽古場の南流山福祉会館に集合。2台に分かれて一路手賀の丘へ。

同じ千葉県で隣町ということもあり、1時間足らずで到着。荷物を運び入れて早速着付け教室。自分で着れるようになるため皆で協力して浴衣の着付け。そして、ここ自然の家の説明会に参加。

いるがその間に手洗いという。バイキング形式で皆好きなものを取って、



皆がそろったらいただきます！。食後は麦茶のヤカンを用意して新しい演目にチャレンジ。飾山囃子と津軽じよんが節の2曲をそれぞれ2手に分かれてマスターする。



夕食後はプラネタリウム

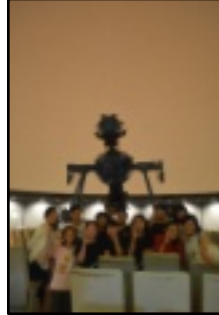


南流山駅前フェスタ

昨年7月30日に恒例のJR南流山駅の特設ステージで南流山駅前フェスタが行われた1昨年を引き続き3回目の出演となった。今回一番違うのは6年生の流山カルチャースクールの生徒さんが菊の会



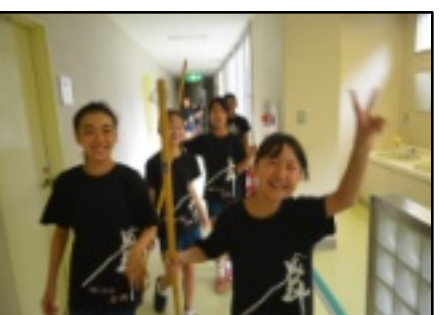
ム鑑賞を堪能した後は夜



はみんな夏の定番花火大会！グランドを借りて手持ち花火であちらこちらでキャーキャーと歓声が上がる。あつという間の一日が終わり翌日は早



朝からお掃除。各部屋の掃除を終えてロビーや正面玄関を手分けしてお掃



除。2日目も朝びつちりとお稽古をしてお昼は手賀の丘公園でアスレチックを堪能して思いっきり遊んで帰宅。帰りの車中も元気元気で夏の思い出の1ページが終わった。

種子島（西之表市）・沖永良部島（知名町）・長島町公演開催

流山セントラルパークフェスタ2016

6月5日生涯学習センターにて恒例のセントラルパークフェスタが行われた。今年の新テーマは『つなぐ輪』。がれ人の輪。子どもたちや、若いママ世代が増え、変化を続ける流山だからこそできる、流山にしかできない体験イベント

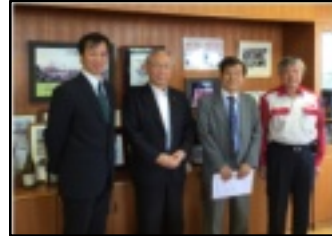


トを目指すテーマです。12名の出演者は花笠音頭・紅花つみ唄・ふるさと囃子の3曲を披露した。文化協会は1部の最後を見事に飾った。



10月13日鹿児島県長島町文化ホール公演そして21日には西之表市民会館リニューアル記念公演。そして24日には沖永良部島にある知名町の文化ホール『あしびの郷ちな』に於いて町制70周年記念事業としてそれぞれ菊の会公演が行われた。これには川添長島町長、そして長野西之表市長、平安知名町長の全面的な応援により実施された。特に西之表市で元JAXA宇宙飛行士室長の寺門邦次先生のご紹介で阿世知亘富日本のおどり実行委員会委員長の尽力がなければ公演を行うことが出来ませんでした。満員御礼の会場は熱

気に包まれあつという間の2時間が通り、日本各地の民俗芸能に惜しみない拍手が送られた。当日は西日本放送やMBCTVの取材が入った。この西之表公演のきっかけは5年前にさかのぼる。2011年同じく種子島の南種子町での公演を鑑賞した阿世知さんが自分の街にも是非見せたいという熱い思いが5年の歳月をかけて再び菊の会を種子島に呼んだ。執念と熱意のこもる公演であった。



写真は右から阿世知亘富実行委員会委員長 寺門邦次コーディネーター 長野西之表市長 飯田栄志代表理事

の本衣裳を着てなんと女奴をおどるという大役にチャレンジ。通常何年もかけて立てる舞台に地元という事もあり公演メンバーが数名は行っての出演では有るが男性も若手中学生～高校生を抜擢しての若者たちの阿波踊りとなった。熟練のメンバーはお囃子での参加で脇を固めてくださった。沢山のお客様に声援を頂いた。

